

所属・氏名（ 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 氏名：加藤 茂幸 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) 床接地における摩擦の違いが 膝関節に及ぼす影響 -有限 要素モデルを用いた検討- 《筆頭論文》	単著	2025 年	日本膝関節学会誌	本研究は摩擦係数が異なる条件で床接地したと きの膝関節の動態を有限要素モデルを用いてシ ミュレーションを行った。外的要因である摩擦が 靱帯への負荷に影響を与えることをシミュレーシ ョンで示した。 (p366-367) (加藤茂幸) 「データ収集および論文執筆担当」
2	(学術論文) 3次元有限要素モデルを用 いたジャンプ着地動作にお ける関節内のストレス状況の可 視化 《筆頭論文》	共著	2023 年	日本関節鏡・膝・ス ポーツ整形外科学 会雑誌	本研究は片脚ジャンプ着地動作の解析と三次 元有限要素モデルを組み合わせてシミュレーシ ョン解析を行い、動作中の関節内の靱帯および 半月板へのストレス状況を算出した。 (p106-107) (加藤茂幸、浦辺幸夫、白川泰山) 「データ収集および論文執筆担当」
3	(学術論文) 膝前十字靱帯再建術後ス ポーツ復帰した大学ス ポーツ選手の 3 種類のジャンプ着 地の比較 《筆頭論文》	共著	2022 年	日本関節鏡・膝・ス ポーツ整形外科学 会雑誌	本研究ではACL 再建術後スポーツ復帰した選 手を対象に両脚ジャンプ着地 (CMJ)、片脚 ジャンプ着地 (SCMJ)、ホップ動作 (HOP) 時の下肢の非対称性について検討した。 (p156-157) (加藤茂幸、浦辺幸夫) 「データ収集および論文執筆担当」
4	(学術論文) 膝前十字靱帯再建術後ス ポーツ復帰した選手の両脚着地 タイミングの非対称性につ いて 《筆頭論文》	共著	2021 年	Journal of Athletic Rehabilitation	本研究は ACL 再建術後スポーツ復帰している 選手のジャンプ着地動作時の床反力および屈 曲角度、着地タイミングの非対称性について 検討した。ACL 再建群のジャンプ着地動作の 各測定項目に非対称性を認めた。 (p21-26) (加藤茂幸、浦辺幸夫、白川泰山) 「データ収集および論文執筆担当」
5	(学術論文) 3次元有限要素モデルを用 いた膝関節スポーツ外傷発生シ ミュレーション:前十字靱帯損 傷に伴う半月板損傷および内 側側副靱帯損傷の例 《筆頭 論文》	共著	2020 年	Journal of Athletic Rehabilitation	本研究は外傷受傷時の膝関節のキネマティク スおよび角速度を反映させ、関節角度の経時 的な変化に伴う内側側副靱帯および外側半月 板、前十字靱帯への負荷を視覚的に示した。 (p33-37) 加藤茂幸、永山則之、浦辺幸夫、白川泰山 「データ収集および論文執筆担当」

令和 8 年 5 月 7 日 現在